

「愛の国から幸福へ」一大ブームとなった「恋人たちの聖地」

「幸福駅」は旧国鉄広尾線（帯広～広尾、84.0キロ）の1駅で、73年頃に同線内の「愛国駅」からの切符（愛の国から幸福へ）や、入場券が全国で爆発的に売れ、一大ブームになった。

1987（昭和62）年広尾線の廃線にともない駅舎や施設は観光地化。

ホームにはキハ22系2両（車内も公開）と除雪に活躍したモーターカーが静態保存されており＝写真右、駅舎＝同左＝には幸せを願う観光客が一面に自分の名刺や切符を貼り付けている。また幸せが舞い込むとされる「幸福の鐘」も設置されており、恋人たちの聖地にもなっている。

